



こどもクリニックニュース

NO. 104 平成20年8月1日発行

9月までの休診の予定

8月18日(月)～23日(土) 夏季休診
9月6日(土) 職員旅行

☆お盆期間の診療のご案内☆

前号でお知らせしていた内容に変更があります。

今年は、8月13日(水)～16日(土)も通常どおりに診療します。ただし14日(木)、15日(金)の午後の診療はいつもより1時間繰り上げて、14:00～17:00といたします。

院長の予定 (2008年9月まで)

8月	11日	(月)	1才半健診	保健センター
9月	9日	(火)	二種混合	南小
	25日	(木)	ポリオ	保健センター
	29日	(月)	3才健診	保健センター

これらの日は午前の受付を12:00前に締め切ることがあります。また午後の診療開始時間が多少遅れることがあります。



感染症の情報

ヘルパンギーナと手足口病が流行しています。どちらも口内炎ができて、痛みのために食事が食べられなくなることもある病気です。高い熱が出ることもあり、解熱剤などを上手に使用して脱水症状を予防することが大切です。口内炎は、おおよそ1週間程度でなくなります。

水痘やおたふくかぜ、溶連菌感染症、プール熱も流行していますが、夏休みに入りましたので今後は次第に少なくなるものと推測します。

今シーズンの麻疹の流行は終わりかけています。ただし関東地方ではまだ患者発生が報告されていますので注意が必要でしょう。1才児、小学校就学前の幼児、中学1年生、高校3年生など、公費のMRワクチン接種対象となっている方はできるだけ早く接種されることをお勧めします。

インフルエンザワクチンの予告

まだ少し早いですが、当院における今シーズンのインフルエンザワクチンの予約受け付け・接種スケジュール(の計画)をお知らせします。

ワクチン接種は10月21日(火)より開始する予定です。例年同様に、通常の診療時間や昼の予防接種専用時間に接種可能です。また一部の土曜日の午後に「インフルエンザ専用の時間帯」を設定する予定です。通常の診療時間は一般の患者さんと同じ待合室で待機することになりますし、一般の患者さんの診療を優先するために、予防接種の予約人数を制限しています。できるだけ土曜日の午後の専用時間に接種されることをお勧めします。

ワクチン接種は今年も「完全予約制」です。予約の受付は9月8日より開始します。電話でも受付窓口でも、どちらでも構いません。

Hibワクチン、発売が遅れています！

関心の高い方もいらっしゃるようで、最近、質問を受けることがあります。

子どもがかかる多くの感染症の中で、最も重いものが「髄膜炎」です。脳や脊髄の表面を包んでいる髄膜という場所で細菌やウイルスが増殖して発病しますが、細菌による髄膜炎は死亡率も高く、後遺障害を残すことも多いのです。そして髄膜炎を起こす細菌の中で一番多いのが、インフルエンザ菌b型(Hib・ヒブ)です。毎年冬に流行するインフルエンザと似た名前ですが、全く別の病気ですので誤解しないでください。

現在日本では、年間600人くらいの子どものヒブによる髄膜炎にかかっていると推定されています。そしてその約半数は生後6ヶ月から1歳までのお子さんで、かかると5%のお子さんが亡くなり、20%前後のお子さんに後遺症が残るといわれています。麻疹と同等またはもっと怖い病気だと考えてよいでしょう。

このヒブという細菌に対して、すでにワクチンが開発され使用されています。諸外国では、10年以上前からヒブワクチンを定期接種としており、ヒブによる深刻な病気は100分の1程度に激減したそうです。WHO(世界保健機関)でも乳児への定期接種を推奨する声明を出していますが、日本ではまだこのワクチンは販売されていません。

実は昨年(2007年)の1月頃に、厚生労働省がこのヒブワクチンの使用を認可(許可)しました。ところがこのワクチンは日本国内では製造されていないため、海外からの輸入・販売となるのですが、どうもその段階での手続きが遅れているようです。当初の予想では今年の春には発売予定だったのですが、夏にずれこみ、さらに秋になるとのうわさです。今はひたすら待つしかありません。

ちなみにこのヒブワクチンの接種方法ですが、現行の三種混合ワクチンと同様に、合計4回の接種となります。アメリカでは生後2ヵ月過ぎより、三種混合と同時に接種しています。具体的には左右の腕、または片腕とお尻に立て続けに注射します。複数のワクチンを同時に接種することは日本では一般的ではありませんが、アメリカでは(おそらく他の多くの国でも)普通に行われています。

またその費用ですが、現在日本では定期接種の対象になっていないので「任意接種」となります。つまり有料です。料金は・・・まだワクチンが発売されていないので不明ですが、「4回分で3万円くらい」などという話も聞きます。

厚生労働省が重い腰を上げて、やっとMRワクチンの2回接種が始まったばかりですが、ここでさらに一

歩進んで、赤ちゃんを髄膜炎から守るためにヒブワクチンの定期接種化が望まれます。

先に書きましたように、ヒブワクチンは世界中で使用され効果をあげていますが、まだ使用されていないのはアフリカの国々、イランやイラクなどの中近東の国々、そしてアジアでは日本や北朝鮮など、ごく少数です。予防接種に関しては、日本は後進国なのです。



時間外に受診する前に、ちょっと役立つ電話

○埼玉県小児救急電話相談 (#8000)

こどもの急病(発熱、下痢、嘔吐など)時の家庭での対処方法や受診の必要性について、看護師が電話で相談に応じます。

【相談時間】

月曜日～土曜日 午後7時～午後11時

日曜日、祝日、年末年始 午前9時～午後11時

【電話番号】 #8000

インターネットが使える方はこちらも便利

○こどもの救急(日本小児科学会)

夜間や休日などの診療時間外に医療機関を受診するかどうか、判断の目安を日本小児科学会のホームページで提供しています。アドレスは <http://kodomo-qa.jp/>

子どもクリニックニュースの無料郵送サービスをしています！

郵送をご希望の方は、受付けでお申し込み下さい
当院のホームページ <http://www.tomonaga-kc.com>

携帯用ホームページ

携帯電話用に、簡易版のホームページを開設しました。休診の予定や感染症の情報(週報)がご覧いただけます。また「院長のブログ」にもリンクしています。

<http://www.tomonaga-kc.com/mobile.html>

